1　学校名　　さいたま市立仲町小学校

2　学校住所　埼玉県さいたま市浦和区常盤８丁目１８番４号

3　学校 HP　http://nakacho-e.saitama-city.ed.jp/

4　全国大会に向けての PR

＜学校について＞

本校は、昭和２７年５月７日に浦和市立仲町小学校として開校（平成１３年５月１日より合併に伴う市名変更により「さいたま市立仲町小学校」となる）し、今年で６２年目を迎える児童数７６６名、職員数５０名（H25.11.12 現在）の中規模の学校である。「のびのびスクール仲町小学校」をキャッチフレーズに子どもたちも教職員ものびのびと教育活動に取り組んでいる。

平成元年度から平成２年度の２年間にわたり、文部省（当時）の研究開発校として「生活科」の創設に向けたカリキュラム開発の研究に取り組んだ。また、平成１５年度には関東地区小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会埼玉大会の会場として、研究の成果を広く発表した。

本年度は、さいたま市教育委員会の研究指定を受け、「自ら学び、共に生きる子どもの育成」をテーマに生活科・総合的な学習の時間の研究に取り組んでいる。

＜研究について＞

研究主題　　自分の考えをもち、共に学び合う子どもの育成

身近な「ひと・もの・こと」とかかわり合いながら、自己の生き方を考える子をめざして

研究仮説

生活科と総合的な学習の時間において、多様なかかわり合いをもつことを重視した取組を行うことにより、自分の考えをもち、共に学び合う児童を育成できるであろう。

生活科としての取組

１　「ひと・社会・自然・自分自身」と主体的にかかわる場面を取り入れた単元の開発

２　繰り返しかかわったり、試行錯誤したりすることを通し、児童の思いや願いを生かす学習過程の実践

３　活動、体験の深まりや気づきの質を高め、自分のよさを発揮できる指導と評価の工夫

総合的な学習の時間としての取組

１「ひと・もの・こと」と積極的にかかわる場面を織り込んだ単元計画の工夫

２「ふれる」「つかむ」「まとめる」「ひろめる」を螺旋的・複線的に取り入れた単元計画の作成

３　学習を通してつけるべき力の明確化、それに対する具体的な指導・評価の方法の工夫

今年度の授業研究の取り組み

１年：生活科「家族の中にわたしがいるよ」

ごはんをよそうときはギュッとしちゃダメなんだよ

自立への基礎を養い、健全な自尊感情を養う

６年：総合「この街の歴史、そしてこれから」

この気付きとこの気付きはなかまとしてまとめられるね

地域の良さに気付き、社会の一員としての生き方を考える